

まちのスケッチブック

あたらしいまちづくりをめざす VOL-4

泉佐野市議会議員

ちよまつ ひろやす
千代松 大耕 (27歳)



いよいよ泉佐野市は新世紀への第一歩を踏み出すことになりました。市民のみなさまはこの記念すべき瞬間を二十一世紀への希望と夢に満ちた思いでお迎えになられたことと心からお慶び申し上げます。昨年は多くの皆様に支えていただき一年目にしては十分な活動が出来たと自負する次第であります。泉佐野市は二十一世紀に多くの課題を残しました。「財政再建」「行政改革」「教育問題」「情報化」「環境問題」等さまざまな問題が山積みしております。新世紀を迎え、二年目に入つた私としてもこれらの問題に真正面から取り組んで多くの泉佐野市民のみなさまから夢と希望を託していただけるようさらなる精進を重ね、大きく前進する一年としたいと考えております。みなさまのご健勝を心よりお祈り申し上げ年初の挨拶とさせていただきます。

再建団体転落は絶対に回避しなければなりません!

昨年十一月に泉佐野市では平成十一年度の決算特別委員会が行われました。泉佐野市の平成十一年度決算の実質収支は3億9

456万8千円の赤字決算となりました。このような状況になってしまった原因は歳入面で市税収入が伸び悩み、また歳出面では公債費や繰出金等が増加したからであります。また経常収支比率(注1)が109.4%となり府下ワーストになってしまいました。そして基金(自治体の貯金にあたるもの)が底をつき、市税等で経常経費でさえ賄いきれない硬直した状態は平成二十二年でさらに悪化の方向にあり、二十二年の決算見込みで単年度で約25億円、累積で約30億円近い赤字が見込まれ、財政再建準用団体(注2)転落の危機的な状況にあります。このような状況の下、十一月の定例議会には上下水道使用料、幼稚園保育料、市営駐輪場料金、市税の前納報奨金の改定案が上程されました。今回の改定で財政再建団体への転落の危機が全く回避されるわけではありませんでした。しかし少なくともその可能性が低くなることは確かであり、転落してしまえばさらに大幅な改定が強いられるという認識のもと賛成をいたしました。が上水道使用料の改定以外は否決となつてしまいました。(前納報奨金に関しては委員会で継続審議となりました)

体転落は回避しなければなりません。またその負担を減らして市民のみなさまだけに押し付けようとしたわけでもありません。率先してさまざまな改革に取り組んでいく所存でございます。ですので今後とも理解をお願いいたします。

(注1) 経常収支比率
自治体の「絶対に必要なお金」(人件費、公債費、扶助費等)を「絶対に入ってくるお金」(地方税、地方交付税等)で割って100%をかけた数値。%で表される。一般には70、80が健全な数値で財政に余裕を持つことができる。泉佐野市のように100を超えるお金ですら、自前で用意できないということ。

(注2) 財政再建準用団体
地方財政再建促進特別措置法を準用して国の指導で財政を再建する地方公共団体。ようするに国の管轄下におかれてしまい、自治体の独自性がなくなつてしまふ。

- ・ 市民税・固定資産税が最大1.5倍に引き上げ
- ・ 保育所の保育料が2倍に引き上げ
- ・ 体育館・文化会館の使用料の引き上げ
- ・ 各種手数料の引き上げ
- ・ 乳幼児医療費・障害者医療費・母子家庭医療費の有料化
- ・ 見舞金(敬老祝金、障害者見舞金、生活保護世帯施設入所者見舞金)の廃止
- ・ 母子家庭給付金の廃止
- ・ 建設事業は維持補修的なもののみで単独事業は中止
- ・ 単独補助金の廃止

十二月議会 一般質問
先月の議会において「今後のりんくうタウンについて」行政評価システムについて「個人質問いたしました。」

「今後のりんくうタウンについて」
(質問) 開港6周年を迎えた関西国際空港をさらにクロー

バルなハブ空港に育て上げるため、現在も4000mの平行滑走路と諸施設を整備する二期事業が進められている。来るべき二十一世紀に関西国際空港との共存共栄という基本的な考えをもつ泉佐野市としてもこの二期事業が円滑に、また計画どおりに進められるよう今後要望していかねばならない。りんくうタウン事業はこの関西国際空港の支援・補完並びに大阪湾及び地域の環境改善を図り、あわせて、地域の振興に資する、という目的のもと、大阪府企業局が事業主体となり昭和六十二年三月に工事が着手された。りんくうタウンは空港との直結に加え、鉄道や高速道路網の整備で交通アクセスのすぐれた利便性や先進の基盤整備、海や緑の豊かな自然に恵まれた景観など、国際都市として十分な機能を有し、敷地面積約320ヘクタール、そのうち約150ヘクタールの企業などが誘致する分譲地が宝の山ともてはやされたが、バブル経済崩壊による長引く不況下で企業の進出が進まず、現在でもその分譲予定地も大半が空き地という状況である。そのりんくうタウンの分譲状況を問う。

またりんくうタウンへの企業進出による税増収という甘い見通しが、現在の財政状況を招いた大きな要因である。二十一世紀に残った泉佐野市の大き

な課題はりんくうタウンの成熟である。早期成熟を目指しての泉佐野市としてのインセンティブな施策は何が考えているのか。りんくうタウンにアウトレットがオープンし、年間300万人の入場者数を見込んでいます。分譲が思うように進まないりんくうタウンにとっては明るいニュースである。このアウトレットの効果は何か地元へ有効に活用することを泉佐野市は考えているのか。

(回答)

りんくうタウンの分譲状況は2市1町にまたがるりんくうタウン全体でみると計画面積152haに対して、済面積85.5haで契約率56.3%となっている。泉佐野市域の分譲状況は計画面積69.0haに対して、済面積45.8haで率にして66.4%となっている。しかし流通製造加工ゾーンなどは民間向けの分譲は完了しているものの、施設立地が進んでいないというゾーンの「グレートタワー周辺」を除いてはほぼ分譲が完了している。

泉佐野市の税収が伸びない一つの要因としてりんくうタウンの成熟の遅れがあげられる。大阪府ではりんくうタウンの総合的な活用の推進を図るためプロジェクトチームを設置し、また外部の有識者からなる委員会を発足さ

せた。泉佐野市としても企業立地の促進を図るためのインセンティブな施策を、大阪府の状況を見ながら検討していく。

アウトレット効果の地元への有効活用については、タール組合が小売できる施設をりんくうタウン駅に設置する予定である。また可能ならばアウトレット横の緑地帯の地元への暫定使用を考えていきたい。

「行政評価システムについて」

(質問)

行政評価システムは三重県、静岡県、長浜市、川崎市などの一部地方公共団体が導入し、「無駄な事業の削減」「職員の意識改革」「成果重視の行政サービスの実現」などの様々な効果をあげ、全国の自治体で行政改革推進のための有効な手法として大きな期待と関心を集めるようになってきた。泉佐野市においても新田谷市長の施政に関する基本方針の中で、「事務事業の抜本的な見直しと効率的な行政運営に努めるため、既存の行政施策や事務事業について、市民の視点、客観的な視点から評価、見直しを行うため、行政評価システムの導入について検討を行い、行財政の適正化と効率化を図っていききたい」としている。現在の行政システムは予算を確保し、その予算を使うことと重点がおかれ、評価に

関してはあまり目が行われなかつた。これは右肩上がりの経済成長にも助けられ、予算を中心とした行政でも大きな支障が見えてこなかったためである。そういった中で地方自治体は「あれもこれも」という行政がおこなえたが、近年の社会経済情勢の急激な変化や厳しい地方財政、特に泉佐野市は財政赤字再建準用団体への転落の危機的な状況では、「あれもこれも」ではなく、「あれこれか」という市政しかできない。今後の事業、施策を実施するにつき、最重要なのは、「あれこれか」という厳しい範囲の中で事業の優先順位を決めるだけでなく、「市民の視点」から見て広範な市民の方々が十分な満足を得るようなシステムづくりしていかなければならない。そして行政評価システムというものが非常に重要な役割を占めてくるように思う。しかし行政評価システムは全国的に均一のシステムがあるわけではなく、自治体それぞれ独自の特色をもった開発、導入し、実施している。泉佐野市の行政評価システムは現在の導入に向けての進捗状況は？

※十二月議会ではこの「行政評価システム」については具体的な回答を得ることができませんでした。しかし、年明け泉佐野市長新年互例会で新田谷市長

あたらしいまちづくり(4) 旧市民病院跡地の暫定利用が決定!

旧市立泉佐野病院暫定利用計画が発表され、ガーデニング、バッテリーセンター、レストラン等からなる総合レジャー施設として今後5年間暫定利用(4月着工予定)されます。また駐車場は132台分確保され、周辺の公共施設(ハローワーク、福祉センター等)利用のための駐車が可能となります。今回の事業を行う会社は豊中市民病院跡地においても、一緒に形態で暫定利用しているという実績を持ち、豊中市のその施設を個人的に視察してまいりました。大阪には珍しい雪とかち合ってしまったが、ガーデニングゾーンではさまざまな緑を楽しむことができました。

は「有識者、民間企業の方、市民の方々から構成され、行政のスリム化を目指す」「行革推進会議」を立ち上げ、その中で、さまざまな事業を事前に多くの方々から評価していただくシステムを作る」と表明されました。



完成図



豊中市民病院跡地にて

議事を傍聴しませんか?

次回定例議会は3月5日から始まります。気軽に市役所5階までお越しください。

自由民主党泉佐野支部 ホームページ開設!

アドレスは <http://www12.u-page.so-net.ne.jp/xf6/zimin19/> です。

千代松大耕プロフィール

昭和48年10月3日泉佐野市松原生まれ(27歳)

泉佐野市議会議員 自由民主党泉佐野支部政務調査会長 (社団法人)泉佐野青年会議所会員 羽倉崎教育センター非常勤講師

ホームページ http://www.hoops.livedoor.com/~chiyo_51/index.html